



コロナ禍と視覚障害者

千葉県医師会理事 日比野久美子 医師



新型コロナウイルス感染は、なかなか終息の気配はなく、私たちは毎日不自由な生活を送っています。私は、眼科医という仕事柄、視覚障害の方々との交流がありますが、このような方々も、コロナ禍でたくさんの困難を抱えていることをご存じですか。

例えば、マスク。視覚障害の方々には、マスクをつけることで相手の声が聴きづらくなるだけでなく、表情も読み取りにくくなります。また、歩行時の微妙な風向きや、物体の迫ってくる感覚もわかりにくくなってしまいます。買い物の際、見えないので物品を触って確認していたら「物に触らないでください」、レジで会計を待っている時も、床の上に書かれている線が見えず「ちゃんと並んでください」と、いつも注意されてしまいます。バスや電車に乗る時も、空いている席に座ったつもりが「もつと離れて座って」と、ほかの乗客の方から怪訝そうに言われたり…。ヘルパーさんなど、一緒に行動してくださる方々のサービスも、十分なソーシャルディスタンスをとれないことを理由に、断られることもあるそうです。

しかし、なんとといっても、コロナ禍によって健常者の方々の心の余裕もなくなり、視覚障害の方々にお声がけをする方が、少なくなってきたことが一番の問題です。ご存じのように、駅のホームから視覚障害者が転落する、という痛ましい事故も報道され、*「ホーム転落をなくす会」という団体も、視覚障害者により設立されました。

ぜひ、視覚障害の方々へのこのような不自由さをよく理解して、何か困っている様子を見かけたら、積極的なお声がけをしてみてくださいね。

*「ホーム転落をなくす会」 <https://stoptenrakujindofree.com/>

ミレニアム millennium

2021 June 第77号

21世紀を「健康の世紀」に…。その願いから「ミレニアム(新千年紀)」と名付けました。

目次

特集

身近なものによく知られていない
坐骨神経痛 1

スポーツコーナー
体幹筋のトレーニング 5

からだのソラシド♪ マナぽつと
快便ってすばらしい♪ 排便の大切さを学ぼう!
~その1 排便センサーをこわさないで!~ 6

千葉県インフォメーション

- ・4月にチーパスが変わりました!
- ・健診は毎年受けましょう!
- ・旧優生保護法による
不妊手術等を受けた方へお知らせ 8

元気からだ! Q&A

「高齢者の誤嚥」予防する方法はあるの? 10

こども相談室

乳児の鉄分不足・貧血について 11

旬食野菜クッキング / 医師会インフォメーション

とうもろこしご飯 / まちがい探し 12